

普通課程

自動車整備士養成施設

2年

定員20人

自動車整備科



特色

- ◆ 県北唯一の2級自動車整備士養成施設です。(修了後2年間実技試験免除)
- ◆ 2年間の訓練で2級自動車整備士の資格の取得を目指します。

実習環境

- ◆ 実習場は、自動車整備認証工場として、中国運輸局から認証を受けており、基礎的な整備技術を習得するための環境が整っています。

就職状況

- ◆ 修了生の大半が県内企業（カーディーラー、整備専門工場等）の自動車整備士として就職しています。

指導員から

元気で車好きの若者が自動車整備士を目指して頑張っています。

最初はカタカナの多い専門用語にとまどう生徒も。分からないことはどんどん質問して2年後にはぐんと成長しています。

最近は自動車整備士として活躍する女性も増えています。

訓練期間	定員	課程	応募対象年齢 (令和6年4月1日現在)	実習教材費
2年	20人	普通課程	18歳以上30歳以下 (高等学校卒業者)	1年次58,000円 2年次34,000円

訓練目標	自動車の整備に必要な機器工具の取扱いができるとともに、自動車の整備及び運転作業ができ、指導員の指示のもとで自動車の検査作業ができる程度の技能及び関連知識について訓練し、将来の中堅技能者としての素地を与えらるとともに職業人としての自覚を得させる。
仕上がり像	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計測器による各種測定ができる。 ・各種工具及び工作機械の取扱いができる。 ・安全作業及び衛生作業がよくできる。 ・各種エンジンとその付属装置及びシャシ、ボディ、電気装置の整備ができる。 ・各種車両において自動車関連法規に基づく検査及び故障原因探求ができる。
資格取得目標 《 》内は受験料で別途必要です	<ul style="list-style-type: none"> ・ガス溶接技能講習《12,980円》・アーク溶接特別教育《22,110円》 ・自由研削用と石取替等業務特別教育《11,220円》・低圧電気取扱特別講習《5,005円》 ・危険物取扱者乙種第四類《4,600円》・中古自動車査定士（小型）技能検定《18,150円》 ・2級ガソリン自動車整備士技能検定・2級ジーゼル自動車整備士技能検定
対応職務	点検整備 緊急整備 分解整備

訓練の内容	科目の概要		時限数
	学	実	
学	自動車工学	自動車の構造性能 自動車の力学 電気電子理論 材料 燃料潤滑剤 製図	650
	機器の構造・取扱い	整備作業機器 計測及び点検機器 エンジン関係機器 電気関係機器	40
	自動車整備	エンジン整備 シャシ整備 電装整備 車体整備 故障原因探求	210
	その他	生産工学概論 安全衛生 関係法規 自動車検査	524
	学 科 計		1,424
実	基本実習	測定基本 工作基本 安全衛生作業法	120
	自動車整備実習	エンジン整備 シャシ整備 電装整備 車体整備 故障原因探求	1,200
	自動車検査実習	自動車関連法規に基づくエンジン検査 シャシ検査 電装検査 車体検査	60
実 技 計		1,380	
合 計			2,804

年度	R02	R03	R04	＜主な就職先＞
修了者就職率	100%	100%	100%	ゲイビ車輛(株)、トヨタL&F広島(株)、トヨタカローラ広島(株)、プライムエンジニアリング(株)、ボディワーク&ペイントショップスマブラ、(株)小笠原オートショップ、(株)サンチューエンジニアリング、(株)スズキ自販広島、(株)新和自動車、広島トヨタ自動車株、広島トヨペット(株)、広島日産自動車株、三菱ふそうトラック・バス(株)、三輪モーターズ 等



広島
県立

三次高等技術専門校

〒728-0014 三次市十日市南六丁目14-1
TEL.0824-62-3439 FAX.0824-63-6888

応募方法等は、募集要項または
校ホームページで確認してください



自動車整備士の仕事について

※出典：job tag（厚生労働省職業情報提供サイト（日本版O-NET））

どんな仕事？

自動車の走行の安全確保、及び有害排出ガスや騒音の抑制などの環境保全のために、専門的な知識と技術を駆使して自動車の点検と整備を行う。

自動車の整備には、定期的に各部を点検し、機能の低下した部分を整備する定期点検整備と、交通事故などによる破損箇所の修理や、異常箇所の整備がある。自動車は車種によって構造が異なるため、自動車の種類、エンジンの種類、部位別などにより整備分野が分かれている。

整備工場などに持ち込まれた自動車について、エンジン、操縦、制動、緩衝、動力伝達などの各装置や燃料・電気関係の部品などを点検し、故障している箇所を発見する。装置を取り外して分解し、破損又は磨耗している部品を交換・修理して、自動車の性能や機能を回復させる。

自動車は性能向上により故障が少なくなっており、車検や定期点検などの予防整備が業務の中心となっている。

タスク（職業に含まれる細かな仕事）

- ・不具合のあった部分を修理、または交換する。
- ・エンジン、操縦、制動、緩衝、動力伝達などの各装置や燃料・電気関係部品などを点検する。
- ・車両を点検した結果、損傷や不調の程度を顧客に説明する。
- ・自動車の定期点検をする。
- ・ブレーキの修理、部品の付け替え、交換、調整をする。
- ・ワイパーなどの装備品の消耗または破損部分を交換して据え付ける。
- ・車検をする。
- ・緩衝器を修理または交換する。
- ・ラジエータの漏れを修理する。
- ・計器盤の配線を直す。
- ・手動式および自動変速機を修理する。
- ・損傷を受けた自動車の車体を修理する。

就業するには？

自動車を整備するには自動車整備士の資格が必要となる。ただし、入職後に実務経験を積んでから資格を取得する場合もある。また、自動車の運転免許が必要とされることが多い。工業高校、専門学校等の機械科や電気科など、機械や電気に関する基礎的な知識をもっていると有利である。

中途採用の場合、「自動車整備士」の資格を有し、整備士としての経験があれば有利である。入職後、勤務しながら夜間や休日に講習を受けられる養成施設（自動車整備技術講習所）に半年～1年半通い、「自動車整備士」の資格を取得することもできる。

電子技術の導入などで自動車の構造や装置は、複雑化、精密化しており、整備にあたっては各種電子制御診断機器を使いこなすための知識や、新技術に対応できる技術力が要求されるようになってきている。環境や騒音などの各種規制に対する整備や検査への対応も必要である。また、電気自動車やハイブリッド車に対応する資格として「自動車電気装置整備士」がある。

労働条件の特徴

自動車は法律によって所定の期間ごとに必ず車検を行わなければならないため、職場は全国にある。メーカー系自動車販売会社の整備工場や整備を事業とする会社などで働く。

地域に密着した業態のため、自動車ユーザーの利便性に合わせて、日曜・祝日に営業したり、夜間に営業することもある。このため、休日は交替制による週休二日制を採用する企業も多い。なお、外気が入る作業場であり、騒音、振動の発生、油脂による汚れなどがある。就業者のうち、整備士数は約33万人、女性は約1万人（2016年6月時点*）となっており、女性の整備士数が増加傾向にある。

最近では、技術の進展に伴う電気自動車の登場や自動運転技術の発展などへの対応も求められている。

統計データ（広島県）

就業者数： 8,900 人

労働時間： 167時間

賃 金： 471万円

年 齢： 35歳

求人賃金： 19.3～28.6万円